※令和４年度以降入学生用

学校番号	219

令和８年度　体育科

教科	体育	科目	スポーツⅤ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日常生活から離れた大自然の中で、環境に配慮した組織的な集団活動などを通して、自然の障害や困難に対して相互に協力して対処しながら、生活したり、競技したりする。

2　学習の到達目標

・自然との関わり深い野外の運動の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。
・自然との関わりの深い野外の運動における自他や社会の課題を発見し、試行し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
・自然との関わりの深い野外の運動の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・運動を他者と学び合う際の動きや改善のポイントの示し方、仲間と継続的に活動したり、宿泊体験及び協議会や記録会などにおける参加者の募集、運営方法、初歩的な指導法、様々な環境下で実践する際の健康・安全の確保の仕方やマナーなどの多様な関わり方を私選したりするための事項を理解すること。 ・野外の運動に関連する各種技能、仲間と学び合う際に、他社に技能ポイントを誇張するなどしてわかりやすく表現するなどの実践するための技能や野外の運動の学習をもとに卒業後にスポーツを推進及び発展する際に求められる企画や運営、健康・安全の確保、スポーツを通した良好な人間関係を形成する際などに求められる技能の習得をすること。	・発見した動きの改善点や、効果的な改善策について、活動場面で判断し仲間に伝えること。 ・自然の中で活動する場面で、よりよいマナーや行為について、事故の活動を振り返ること。 ・仲間で分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活動を振り返ること。 ・参加者に応じた効果的な体力の高め方を計画したり、自然環境下で危機回避及び緊急時の対応方法についてのよりよい改善点を指摘したりする。	・ルールやマナーを大切にすること、互いに助け合い高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすること、仲間と話し合う場面で合意形成に貢献しようとすること。 ・学校を離れ、天候の変わりやすい自然環境下で活動が行われることから、活動によって予想される事故の状況、健康・安全に影響を及ぼす生物や植物についての情報と対策、活動地域特有の環境等を十分把握し、健康・安全の確保ができるようにすること。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	キャンプ実習	キャンプ実習 ・野外炊飯 ・集団行動 ・サーキットトレーニング ・校歌	a:野外炊飯・集団行動・サーキットトレーニング・校歌等に対する知識の習得。また実践方法の理解。 b:課題解決の過程を踏まえ、取り組んできた成果を検証し課題を見直している。 c:キャンプ実習の学習に主体的にとりくもうとしている。	スキルテスト	レポート 実習ノート 作成	受講態度の観察
２学期						
３学期	スキー実習	スキー実習	a:スキーの歴史、技術的専門用語、安全面での配慮事項等の知識を理解している。また、スキー場などで目的に応じた用具を用いて、雪の上を滑走、滑降することを通して陶器の雪上活動に親しむ力がついている。雪の斜面をすべり降りるアルペンスキーなどで、滑降・ターン・停止などの技能が身についている。 b:課題解決の過程を踏まえ、取り組んできた成果を検証し課題を見直している。 c:スキー実習の学習に主体的に取り組もうとしている。	スキルテスト 筆記テスト	レポート 実習ノート の作成	受講態度の観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

学校番号	219

令和８年度　体育科

教科	体育	科目	スポーツⅤ	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日常生活から離れた大自然の中で、環境に配慮した組織的な集団活動などを通して、自然の障害や困難に対して相互に協力して対処しながら、生活したり、競技したりする。

2　学習の到達目標

・自然との関わり深い野外の運動の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。
・自然との関わりの深い野外の運動における自他や社会の課題を発見し、試行し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
・自然との関わりの深い野外の運動の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・運動を他者と学び合う際の動きや改善のポイントの示し方、仲間と継続的に活動したり、宿泊体験及び協議会や記録会などにおける参加者の募集、運営方法、初歩的な指導法、様々な環境下で実践する際の健康・安全の確保の仕方やマナーなどの多様な関わり方を私選したりするための事項を理解すること。 ・野外の運動に関連する各種技能、仲間と学び合う際に、他者に技能ポイントを誇張するなどしてわかりやすく表現するなどの実践するための技能や野外の運動の学習をもとに卒業後にスポーツを推進及び発展する際に求められる企画や運営、健康・安全の確保、スポーツを通した良好な人間関係を形成する際などに求められる技能の習得をすること。	・発見した動きの改善点や、効果的な改善策について、活動場面で判断し仲間に伝えること。 ・水難事故防止の観点から振り返ること。 ・仲間で分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活動を振り返ること。 ・参加者に応じた効果的な体力の高め方を計画したり、自然環境下で危機回避及び緊急時の対応方法についてのよりよい改善点を指摘したりする。	・ルールやマナーを大切にすること、互いに助け合い高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすること、仲間と話し合う場面で合意形成に貢献しようとすること。 ・学校を離れ、天候の変わりやすい自然環境下で活動が行われることから、活動によって予想される事故の状況、健康・安全に影響を及ぼす生物や植物についての情報と対策、活動地域特有の環境等を十分把握し、健康・安全の確保ができるようにすること。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	水泳実習	水泳実習 ・遠泳 ・OWS ・シュノーケリング ・ダイビング ・ライフセービング	a：水泳実習におけるさまざまな課題において、その技能の習熟ができている。 b:ライフセービング・スノーケリング・ダイビング・泳法訓練・隊列泳等に関する実技や講義から得た知識を活用し、課題解決の過程を踏まえ、取り組んできた成果を検証し課題を見直している。 c：水泳実習の学習に主体的に取り組もうとしている。	・スキルテスト ・筆記テスト	・レポート ・実習ノート作成	・受講態度の観察
２学期						
３学期	キャンプ実習　事前学習	キャンプ実習 ・事前学習 ・各パート準備	a. キャンプ実習におけるさまざまな課題において、その技能の習熟ができている。 b. リーダー論や各パートについての講義から得た知識を活用し、課題解決の過程を踏まえ、取り組んできた成果を検証し課題を見直している。 c. キヤンプ実習の事前学習に主体的に取り組もうとしている。	・スキルテスト ・筆記テスト	・レポート ・実習ノート作成	・受講態度の観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

学校番号	219

令和８年度　体育科

教科	体育	科目	スポーツⅤ	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日常生活から離れた大自然の中で、環境に配慮した組織的な集団活動などを通して、自然の障害や困難に対して相互に協力して対処しながら、生活したり、競技したりする。

2　学習の到達目標

・自然との関わり深い野外の運動の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。
・自然との関わりの深い野外の運動における自他や社会の課題を発見し、試行し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
・自然との関わりの深い野外の運動の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・運動を他者と学び合う際の動きや改善のポイントの示し方、仲間と継続的に活動したり、宿泊体験及び協議会や記録会などにおける参加者の募集、運営方法、初歩的な指導法、様々な環境下で実践する際の健康・安全の確保の仕方やマナーなどの多様な関わり方を私選したりするための事項を理解すること。 ・野外の運動に関連する各種技能、仲間と学び合う際に、他社に技能ポイントを誇張するなどしてわかりやすく表現するなどの実践するための技能や野外の運動の学習をもとに卒業後にスポーツを推進及び発展する際に求められる企画や運営、健康・安全の確保、スポーツを通した良好な人間関係を形成する際などに求められる技能の習得をすること。	・発見した動きの改善点や、効果的な改善策について、活動場面で判断し仲間に伝えること。 ・自然の中で活動する場面で、よりよいマナーや行為について、事故の活動を振り返ること。 ・仲間で分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活動を振り返ること。 ・参加者に応じた効果的な体力の高め方を計画したり、自然環境下で危機回避及び緊急時の対応方法についてのよりよい改善点を指摘したりする。	・ルールやマナーを大切にすること、互いに助け合い高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすること、仲間と話し合う場面で合意形成に貢献しようとすること。 ・学校を離れ、天候の変わりやすい自然環境下で活動が行われることから、活動によって予想される事故の状況、健康・安全に影響を及ぼす生物や植物についての情報と対策、活動地域特有の環境等を十分把握し、健康・安全の確保ができるようにすること。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	キャンプ実習	キャンプ実習 ・野外炊飯 ・集団行動 ・サーキットトレーニング ・校歌	a:野外炊飯・集団行動・サーキットトレーニング・校歌等に対する知識の習得。また実践、指導方法の理解。 b:課題解決の過程を踏まえ、取り組んできた成果を検証し課題を見直している。 c:キャンプ実習の学習に主体的にとりくもうとしている。	スキルテスト	レポート 実習ノート 作成	受講態度の観察
２学期						
３学期	スケート実習	スケート実習	a:スケートの歴史、技術的専門用語、安全面での配慮事項等の知識を理解している。また、スケートリンクなどで目的に応じた用具を用いて、氷の上を歩行、滑走することを通して氷上活動に親しむ力がついている。前後滑走・セミサークル・ターン・停止などの技能が身についている。 b:課題解決の過程を踏まえ、取り組んできた成果を検証し課題を見直している。 c:スケート実習の学習に主体的に取り組もうとしている。	スキルテスト 筆記テスト	レポート 実習ノート の作成	受講態度の観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度